

3:14 【主】はシナイの荒野でモーセに告げられた。
 3:15 「レビ族をその一族ごと、氏族ごとに登録せよ。あなたは生後一か月以上のすべての男子を登録しなければならない。」
 3:16 そこでモーセは、【主】の命により、命じられたとおりに彼らを登録した。
 3:17 レビ族の名は次のとおりである。ゲルシオン、ケハテ、メラリ。
 3:18 ゲルシオン族の諸氏族の名は次のとおりである。リブニとシムイ。
 3:19 ケハテ族の諸氏族は、それぞれ、アムラムとイツハル、ヘブロンとウジエル。
 3:20 メラリ族の諸氏族は、それぞれ、マフリとムシ。これらが父祖の家ごとのレビ人の諸氏族である。
 3:21 リブニ族とシムイ族はゲルシオンに属し、これらがゲルシオン人諸氏族であった。
 3:22 数を数えて登録された者は、一か月以上のすべての男子であり、この登録された者は、七千五百人であった。
 3:23 ゲルシオン人諸氏族は、幕屋のうしろ、西側に宿営することになっていた。
 3:24 ゲルシオン人の一族の長は、ラエルの子エルヤサフであった。
 3:25 会見の天幕でのゲルシオン族の任務は、幕屋すなわち天幕と、その覆い、会見の天幕の入り口の垂れ幕、
 3:26 庭の掛け幕、それに幕屋と祭壇の周りを取り巻く庭の入り口の垂れ幕およびそのひも——そしてそれに関わるすべての奉仕であった。
 3:27 アムラム族、イツハル族、ヘブロン族、

ウジエル族はケハテに属し、これらがケハテ人諸氏族であった。
 3:28 これらの一か月以上のすべての男子を数えると、八千六百人であった。彼らが聖所の任務に当たる者たちである。
 3:29 ケハテ人諸氏族は、幕屋の南側に沿って宿営することになっていた。
 3:30 ケハテ人諸氏族の、一族の長は、ウジエルの子エリツァファンであった。
 3:31 彼らの任務は、契約の箱、机、燭台、祭壇、務めに用いる聖所の用具、さらに垂れ幕とそれに関わるすべての奉仕を含んでいた。
 3:32 レビ人の長の長は祭司アロンの子エルアザルで、聖所の任務に当たる者たちの監督であった。
 3:33 マフリ族とムシ族はメラリに属し、これらがメラリ人諸氏族であった。
 3:34 数を数えて登録された者は、一か月以上のすべての男子であり、六千二百人であった。
 3:35 メラリ人諸氏族の一族の長は、アビハイルの子ツリエルであった。彼らは幕屋の北側に沿って宿営することになっていた。
 3:36 メラリ族の任務は、幕屋の板、その横木、その柱と台座、そのすべての用具、およびそれに関わるすべての奉仕、
 3:37 庭の周りの柱とその台座、その杭とそのひもについてであった。
 3:38 幕屋の正面、すなわち会見の天幕の前方に当たる東側に宿営するのは、モーセとアロンまたその子らで、イスラエルの子らの任務に代わって、聖所の任務に当たる者たちであった。資格なしにこれに近づく者は殺されなければならない。

3:39 モーセとアロンが【主】の命により氏族ごとに登録した、すべての登録されたレビ人は、一か月以上のすべての男子であり、二万二千人であった。

イスラエル人はエジプトでは奴隷状態で、そのうえ初子は殺されていました。そしてエジプトから脱出する際には、子羊の血によって助けられました。つまりイスラエルにとって初子は、神様によって贖われたのであり、それは神のものということになります。（3章12節）

ここに贖われた者（救われた者）の使命があります。私たちは小羊イエス様の地によって贖われたものです。それは神を礼拝するために、また神の栄光を表わすために奉仕することです。

ここでは一か月以上の者が登録されたので、誰でも可能な奉仕ではありますが、神様の命令に従ってしなくてはなりません。自覚しつつ主の栄光のために、与えられた役割を果たしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

